

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	106	学校名	仙台市立八乙女小学校	校長名	小山 裕巳
------	-----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル

「身近な環境について考えよう」



2 取組の紹介

(1) 委員会としての取り組み (環境委員会)

①校舎周辺のごみ拾い

委員会活動の中で、校舎周辺のごみ拾いを行い、集めたごみを燃えるごみと燃えないごみに分別しました。お菓子の袋、缶、ペットボトルやマスクなど、意識して見ると、いつも歩いている校庭や、学校の周りにも多くのごみが落ちていることが分かりました。その後、環境委員会の方からごみのポイ捨てを禁止するよう呼び掛けを行いました。

②花壇の植え替え、水やり

季節に合わせた花を校庭の花壇に植えています。学年毎の花壇の他に委員会の花壇にも花を植え、水やり当番を決め、毎日水やりを行っています。

③委員会の活動を広めるポスターの作成

環境委員会の活動を広めるためのポスターを作成し、校舎内に掲示しています。水回りには、節水を呼び掛けるポスター、各学級の電気のスイッチ横には、使用しない時は消すようにと節電のポスターを掲示しています。また、花壇の近くには自然を大切にしようと呼び掛けるポスターを掲示しました。各ポスター前で足を止め、意識している姿が見られました。

④除草作業、石拾い

(2) 全校での取り組み

①全校除草作業

年に2回、学年ごとに分担を決め、校庭や花壇の除草作業を行いました。

②花壇整備

6月と11月に学年・学級ごとに花壇整備を行い、季節に合わせた花を植えました。

③紙の分別

委員会活動では行わず、学級ごとに分別用の箱を設置して実施しました。

3 学年の取り組み(5年生)

5年生 総合的な学習の時間 「身の回りの環境を考えよう」

総合的な学習で様々な環境問題について調べました。それらの環境問題の原因や対策を調べていく中で、自分たちが出来ることを考え、一人ひとり発表しました。節電や節水、ごみの分別などの小さいことの積み重ねで対策が出来ることを知り、できることをやろうと意欲を高めていました。また、八乙女学区にある真美沢公園の自然について調べ、「真美沢公園を美しくする会」の方から直接お話を聞きました。5年生全員で、真美沢公園の花や木の名前を書き、設置しに行く活動も行いました。11月に行った泉ヶ岳での野外活動でも多くの自然に触れ、身の回りの自然に目を向けることができ、環境に配慮した取組を実際に行動に移す児童の姿も見られました。



3 取り組みの成果

全校での除草作業や花壇整備の取組については毎年継続して行っているため、児童に学校全体のために奉仕しようという態度が身に付いてきました。また、委員会活動の中で、どのようにしたら全学年に伝わる呼びかけができるかを考えることで、それぞれの学年ごとに違った掲示物を作成するなど、自主的に活動する姿勢が見られました。総合的な学習や社会科では、環境を守るために活動している人たちの取組を知り、自分たちにできることはないか考える児童が増えました。